

部員を集めろ!

第33期 樋口修弘

昭和50年11月16日全国大会予選3回戦で城北高校に0対44のシャットアウト負けをした時から、我々の代がスタートした。6人いた3年生が抜け、その時点で残った部員は我々2年生が6人と1年生が4人のわずか10人であった。そのため、2月の新人戦は現役だけではメンバーが組めず、引退した3年生にお願いしたり、元部員をかき集め、なんとか試合を消化した。

我々の代の最大の課題は『新入部員の獲得』であった。

4月になり、新入生が入学してくると地元の元番長であった大池柳二君を中心に、彼の人脈を駆使して新入部員狩りが始まった。まるでキャバレーの呼び込みの如く、甘い言葉を掛けまくり、練習はやさしく手取り足取り、ラグビーを楽しんでもらい部員を増やしていった。その甲斐あって、なんと13人が入部した。それも驚くことに、中村君や土佐君をはじめ、当時では超高校級の体格の部員が多数入部した。

これでやっとラグビーの『練習』ができるようになった!しかしながら、関東大会の予選は練習不足のため、2回戦で新鋭の府中東と6対6で同点抽選負けした。

次の課題は『強いチームづくり』であった。夏合宿に向け、体力づくりをし、きつく辛い合宿を乗り切り、やっとチームらしくなった。

この間、副キャプテンの国守正和君とはプレーや練習方法などについて、しばしば激論を交わした。彼はフォワード(左フランカー)でありながら、バックスプレーヤー顔

負けのパス回しや、キックプレーをしていたので、新しい発想でフォワードプレーを模索していた。また、右フランカーの横山淳君も国守君に負けず劣らず器用なプレーヤーで、身体は小柄だが黙々とタックルに行く、まさに『まじめ』なタックラーでもあった。

一方、ボックスにおいては、およそフォワードプレーヤーとしか見えない二人がいた。スタンドオフの大池柳二君とセンターの高橋憲二君である。

大池君は、一見したところブロップのような体格をしており、その身体を活かす、縦への突っ込みにおいては安定してゲインライン付近まで進み、よくモールの核として活躍した。また、ロック体型の高橋君は、その身体を活かす派手なプレーと言うよりも、まわりを活かすプレーヤーで、グラウンドの外においても個性的な同期の調整役であった。

さらにもう一人「知らんもんネー」の古川俊介君。彼は、同期の中ではふだんおとなしく、大池君のマスコットのようであったが、試合になるとまさにウイング。華麗にスワープをきり、独走し、トライした。

個性的な同期6人が夏合宿でそれぞれの個性を最大限活かしながらチームを牽引し、『強いチームづくり』に取り組んだ。そして、8月の夏合宿を過ぎてからめきめきと力がついてきた。

合宿後の練習試合初戦は、対新宿高校戦で52対0の完封勝利。次の農大一高戦も40対0、続く大泉高校

戦も42対0と3連続完封勝利であった。

試合を重ねるごとに、チームワークがよくなっていき、自信がついていく。

いよいよ、全国大会予選が始まった。初戦は、対都立井草高校戦。この試合も52対0の圧勝。続く2回戦は、対都立足立高校戦。またしても50対0の完封圧勝であった。念願の3回戦突破に向け、期待が高まる。

昭和51年11月14日(日)1時半城北高校グラウンドに於いて、3回戦対都立小石川高校戦キックオフ。この日は雨でグラウンドもぐちよぐちよ。最悪のコンディションだった。グラウンドに落ちたボールは土の固まりに変わり、パスもままならない。前半のペナルティから小石川にトライを奪われる。その後は一進一退双方とも決定力に欠け、前半の1トライが決勝点となり、念願の3回戦突破はならなかった。

3年間ラグビーをやって、苦しかったこと、楽しかったことはたくさんあるが、一番うれしいことは、今も付き合える同期、先輩、後輩が持てたことだろう。すばらしい出会いを与えてくれたラグビーに乾杯。

末筆にあたり、同期を代表し、高橋憲二君はじめ50年史発刊に御尽力されている皆様に心より感謝申し上げます。

（ 第 33 期 同期生からのことば ）

この50年史の編集に参加し、私には想像もつかない厳しい時代に部を創設し、また、その伝統を守り続けてきた諸先輩方の手書きの原稿を読むうちに、胸が熱くなるのを感じました。

私は、千歳高校ラグビー部にいたことを誇りに思います。

大池柳二

今回この編集を担当させて頂き、懐かしさと共に、ラグビー部の偉大さを痛感しました。また沢山のOBと出会い、貴重なお話しを伺うことができ感謝しております。

高橋憲二

“あっ”と言う間にすぎた苦しくも楽しい3年間のクラブ生活でした。

国守正和

こんなに楽しく練習ができたのは、高校時代の3年間だけだったかもしれません。

横山淳

放課後のグラウンドでOBがボールを蹴っている姿を見て毎日怯えていた自分。辞める時は、皆で一緒に辞めようと言いながら誰も言い出せず3年間続けていた自分。

高校時代は辛かったですが、今大きな財産として残っている自分。千歳ラグビー部に所属していた事、誇りに思っています。

古川俊介

○昭和50年12月～昭和51年11月までの戦歴

日付	大会名	対戦高	グラウンド	勝敗	スコア
S51.1.17	練習試合	戸山高校	千歳高校	○	24-4
2.01	51年度新人戦	目黒高校	明大グラウンド	●	0-54
2.08	〃	狛江高校	〃	●	3-32
4.24	練習試合	戸山高校	戸山高校	○	22-12
4.29	関東大会予選一回戦	府中東高校	明大グラウンド	●	6-6(抽選負け)
6.20	ラグビー祭	松原高校	千歳高校	●	4-38
9.04	練習試合	新宿高校	新宿高校	○	52-0
9.12	〃	農大一校	大泉高校	○	40-0
9.18	〃	大泉高校	農大グラウンド	○	52-0
9.26	〃	青山高校	青山高校	●	19-38
11.03	全国大会予選一回戦	井草高校	大泉高校	○	52-0
11.07	全国大会予選二回戦	足立高校	城北高校	○	50-0
11.14	全国大会予選三回戦	小石川高校	〃	●	0-4

○ 最終戦メンバー戦

1. 中村 (35期)
2. 坂本 (35期)
3. 土佐 (35期)
4. 田村 (34期)
5. 矢野 (35期)
6. 横山 (33期)
7. 国守 (33期)
8. 清水 (35期)
9. 樋口 (33期)
10. 大池 (33期)
11. 斉藤 (34期)
12. 石瀬 (34期)
13. 高橋 (33期)
14. 古川 (33期)
15. 斉藤 (35期)

干歳高校ラグビー祭

NO. 2

現役紹介

昭和51年6月20日〔日〕

(3年生)

樋口修弘 部長 165cm 58kg 脚囲85cm 位置⑨ 本町

キャプテンとして、ハーフとして、あらゆる面で鬼。

国守正和 副部長 176cm 66kg 94cm ⑧ 芦花

足まされて入って3年目。花のNo.8。を獲得。

古川俊介 165cm 58kg 85cm ⑮ 鳥山

春のシーズンは、ケガで欠場。しかし、持前のセンスで秋の活躍が期待される。

横山 淳 168.3cm 61kg 93cm ② 西戸山

敵ボールをとるのが趣味。フアードの長老。

大池柳二 168.6cm 72kg 98cm ⑩ 鳥山

スタンドとして、センス抜群。BKを「クビ」に
なってもFWで活躍できる人。

高橋憲二 179cm 66kg 91cm ⑫ 若林

最近×キ×キとスピードをつけ、進境著しい。

(2年生)

中島俊朗 167cm 61kg 85cm ⑦ 干歳

後輩をむかえ、進歩が目立つ。FWをどんとん
ひっばって行ってほしい。

石瀬 徹 166cm 63kg 85cm ⑬ 渡橋二

生タックルがとても好きな「タックル虫」。

田村真一郎 172cm 67kg 86cm ① 牛込三

戦列に復帰して一ヶ月、何でもできる男。

(1年生)

佐藤 洋 172.7cm 63kg 85cm 弦巻

黙々と走るファイトマン。

大沼充史 173cm 62.5kg 86cm 学大付世田

長距離を走らせたら、平気な顔で3年についていく
すゝい奴。

宮田和彦 169cm 57kg 85cm 砧

これまた長距離は、はやく。大沼と一緒に。

- NO.2: 2,3年をおひやかしている。
- 山岸 洋彦 164.9cm 57kg 胸囲85cm 出身中学 駒沢
とても練習熱心と評判。
- 青木 和弘 167.5cm 53kg 80cm 弦巻
すばしにくくてつかまえるににくい奴。100mは12秒台。
- 真尾 圭輔 172cm 57kg 85cm 代々木
ラケットの一部の猛者の中で一番やさしい男子男!?
- 土佐 亜都人 180cm 85kg 100cm 戸塚一
久々の大型フロフ。俊足で初陣でトライする。
- 矢野 和朗 176cm 69kg 90cm 西戸山二
フランスでは、フットラケットできたとか……
- 斎藤 智 172cm 65kg 83cm 駒沢
やさしいマスクで敵を圧倒するが。
- 清水 真志 178cm 54kg 85cm 落合二
体は細いが、根性は、スジ金入り?
- 中村 網利 176cm 91.5kg 104cm 鳥山
これまた俊足6.9秒。FWa要となって、大暴れしてほしい。
- 坂本 充 166cm 60kg 92.5cm 弦巻
練習のきついラケットがいいと入ってきたカ……の
ある奴。
- 佐藤 臣司 172cm 74kg 96cm 目黒一
初めてのキックで、スフリュウをかいて、テニスコート
の網にぶつけたむ……い男。キック力あり。
- 斎藤 宏 170cm 64kg 90cm 淀橋二
さほど大きくないがあたりは強くステッパも
うまい。
- 志村 高史 162cm 57kg 89cm 淀橋二
愉快なひょうきん者。